

「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」の指標の変更について

重点課題別の評価と課題（1）切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策

	目標項目	計画策定時 (H26)	現状値 (H27)	中間評価 (H31) 目標	最終評価 (H36) 目標
旧	妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談窓口が整備されている市町数	22市町 (H26年度)	24市町 (H27年度)	増加	増加
新	妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談窓口が整備されている市町数	22市町 (H26年度)	24市町 (H27年度)	29市町	29市町

変更理由：県の行動計画の策定及び国の子育て世代包括支援センターを全国展開するという方針を踏まえ、「増加」を「29市町」とする目標に変更したい。

重点課題別の評価と課題（1）切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策

	目標項目	計画策定時 (H26)	現状値 (H27)	中間評価 (H31) 目標	最終評価 (H36) 目標
旧	男性不妊治療等、県独自の助成事業を利用する市町数	19市町 (H26年度)	29市町	29市町	29市町
新	県独自のすべての不妊治療助成事業に取り組む市町数	(5市町)	10市町 (H27.5末)	20市町	29市町

変更理由：当初、県独自の助成事業のいずれか一つでも利用する市町数を29市町（全市町）とする目標を立てていたが、平成27年度時点ですでに達成したため、新たに、より高い目標として「県独自のすべての不妊治療助成事業に取り組む市町数」を平成27年度の実績見込み値である約10市町から平成31年度に倍増させることとする目標を設定したい。

重点課題別の評価と課題（4）育てにくさを感じる親に寄り添う支援

	目標項目	計画策定時 (H26)	現状値 (H27)	中間評価 (H31) 目標	最終評価 (H36) 目標
旧	「CLMと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合	20.5% (H25年度)	33.1% (H26年度)	65%	90.0%
新	「CLMと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合	20.5% (H25年度)	33.1% (H26年度)	75%	100.0%

変更理由：県の行動計画の策定にあたり、目標値を上方修正したことに伴い、変更をいたしたい。